

**第7次職業能力開発基本計画における  
職業能力開発インフラの整備の状況等について**

項目	具体的施策	評価(実施内容)	今後の課題
キャリア形成支援システムの整備	キャリア・コンサルティングの専門家の養成	約33,000人養成(H17.10月末現在) 等	・キャリア・コンサルタントの養成や資質の向上
	キャリア・コンサルティング技法の開発・普及	調査研究の実施(H13~) 等	・小中高校等在学中の職業意識啓発の推進
	キャリア形成に関する情報の収集、整理・普及	「私のしごと館」におけるキャリア形成に係る職業情報の提供 等	・企業内におけるキャリア・コンサルティングの普及・促進
	求職者等に対するキャリア・コンサルティングの実施	ハローワーク等において、キャリア形成に関する相談等を実施 等	
	事業主による労働者に対するキャリア・コンサルティング等の相談・援助の促進・支援	キャリア形成促進助成金の活用(H13.10創設)	

項目	具体的施策	評価(実施内容)	今後の課題
職業能力開発に関する情報の収集整理及び提供の体制の充実強化	インターネット等の活用による職業能力開発(人材ニーズの動向、訓練コース、能力評価に関する情報等)に関する情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業能力開発に係る情報等を提供するサイト「キャリア情報ナビ」の運用開始</li> <li>・各種調査の実施及び調査結果の普及</li> <li>・教育訓練講座検索システムの運用</li> <li>・「私のしごと館」におけるキャリア形成に係る職業情報の提供(再掲)等</li> </ul>	・「キャリア情報ナビ」の一層の有効活用など、労働者及び企業にとってより活用が容易になるよう、能力開発全般に係る情報の収集、分析、提供体制の整備

項目	具体的施策	評価(実施内容)	今後の課題
職業能力評価 システムの整備	民間機関への技能検定の試験業務の委託の拡大	2団体2職種(H13)→ 7団体8職種(H17)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一層の能力評価制度の整備</li> </ul>
	技能検定職種の拡大及び見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・133職種(H13)→ 137職種(H17)</li> <li>・延べ98職種見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職種の更なる拡大と、一層の普及促進</li> </ul>
	職種間・業種間共通の職業能力評価基準の整備	20業種策定 その他順次策定中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業・業界団体による活用状況等を把握し、社会的ニーズを踏まえた整備、充実</li> </ul>
	ホワイトカラーの職業能力評価基準の確立	事務系職種職業能力評価基準策定	

項目	具体的施策	評価(実施内容)	今後の課題
職業能力開発に必要な多様な職業訓練・教育訓練の機会の確保	教育訓練給付制度に係る適切な講座指定等による大学、大学院等高度な内容の教育訓練の確保	大学・大学院等の講座指定 363講座(H13. 4)→ 436講座(H17. 4) 等	・産業構造の変化や利用者のニーズ等を踏まえた多様な教育訓練機会の提供
	民間における教育訓練の質の確保・向上、ニーズ把握	民間教育訓練機関への委託訓練について就職率に応じた委託費の支給を実施等	
	認定職業訓練の見直し及び支援	日本版デュアルシステムの導入等	
	公共職業訓練におけるIT分野・ホワイトカラー向け職業訓練等訓練コースの機動的な新設及び見直し	・広範な分野の人材ニーズに機動的に対応するための民間委託訓練の積極的活用 ※離職者訓練受講者に占める委託訓練受講者の割合 H13:42. 1%→ H16:66. 9% ・人材ニーズに応じた公共職業能力開発施設内の訓練コース見直し 等	